



家を大事にするようになった。
この家が本当に好きだから、全部が幸せです。



Come Home Story

ご入居後の
お宅訪問
No.015
カムホームストーリー
越知町・Yさん家
竣工:2010年12月
設計担当:福井 美絵



「会社の雰囲気もスタッフさんも大好き」

のどかな住宅街に建つYさま邸。日当たり良く風が吹き抜ける場所に家を建てたのは、平成22年12月のこと。借家が古くなったことがキッカケです。ある日見た「押し売りしません」というタイセイホームの記事広告に惹かれ、足を運んだ見学会。営業もなく自然でやさしい雰囲気の家を見て、Yさまご夫妻ともに「住みたいね」と共感し合っただけです。何も分からない状態でお客様サポーターの岡村からいろんなことを教わったと、次第にYさまの気持ちは本格的に家づくりに向き始めました。「会社の雰囲気もスタッフさんも大好きだったので、他を見に行く気にならなかった」と奥さま。「ここにしよう」と、旦那さまとも意見が一致し、Yさまとタイセイホームとの家づくりが始まりました。

「使いやすく掃除もしやすいし、すごく好きです」

奥さまのお気に入り、白で統一したキッチンと、かわいく見せるためにあえてリビングに出した洗面台。背の高さに合わせてもらったというキッチンは、奥さまの使い勝手に合わせ、収納もたくさんありました。「使いやすく掃除もしやすいし、すごく好きです」と笑顔を覗かせます。「たまに主人が立つと低くて腰が痛いとか言ってますね(笑)」と身長差のあるYさまご夫妻ですが、洗面台ではそのリスクを考え、二人が入るようにと鏡のサイズをオーダーしました。水栓やボールのかわいいデザイン、小物が飾れる棚も、奥さまが大好きなものばかりが集まった場所。「ここで毎日ハミガキするのが楽しいです」と、オーダーのうれしいところが覗きます。

「嫌なことも楽しいことも、いろんなことを死ぬまでここで、という覚悟ができました」

土地柄、外との気温差が激しいYさま邸。冬場になると家族が寝ている部屋で結露が起るため、「土地柄によってサッシは少々高くても結露に強いものを選ぶべき」と奥さま。「知識があってこそ後悔しない家づくりができる」とアドバイスをいただきました。住み始めて3年6ヶ月が経ち、Yさまの暮らしで変わったことは、「家を大事にするようになった」こと。旦那さまはいつも帰ってきては今まですることのなかった掃除をするようになり、家を汚さないよう気をつけるようになったと言います。まだ小さいお子さまのいるYさまのお宅。無垢の床に日々増えるキズのあとも今では楽しみになっていると言います。この家で過ごしたことがすべてが思い出となり、将来我が子に話す日がくることを楽しみにしていると奥さま。日々お家の愛着もキズの数だけ増えています。「嫌なことも楽しいことも、いろんなことを死ぬまでここでという覚悟ができました」と、気持ちの面でも大きな変化。「それもこの家が本当に好きだから、全部が幸せです」とうれしいお言葉をいただきました。